

おもちゃに見る「売れる商品」と「知財活動」

誰にでも親しみのある商品「おもちゃ」。
その背景にはどのような企業努力が隠されているのでしょうか。
訴求力を持ったデザインやネーミング、安全性に配慮した形状等、担当者の日々の苦心や思いが具現化した商品に隠された事業戦略と、模倣品を含む知的財産対策について、日本を代表する玩具メーカーであるタカラトミーより知的財産課長の新藤氏を講師に招いて解説していただきます。
老若男女問わず、購買層からの高いニーズに応える使命を持った企業の活動を通じて、「良い商品」の誕生と「知財活動」との関係性を知る内容となっています。
参加費は無料です。ぜひご参加下さい。

参加無料 事前申込制
定員になり次第締切ります。



平成23年 **3月2日(水) 14:00~17:00** (受付 13:30~)

場所：千葉市ビジネス支援センター 会議室3
(千葉市中央区中央4丁目5番1号 Qiball13階)

定員：50名

今後のセミナー開催
予定などはこちらの
モバイルサイトへ！



セミナープログラム

13:30~
14:00~

受付開始
セミナー

おもちゃに見る「売れる商品」と「知財活動」

1. 企業の知的財産活動（おもちゃと知的財産権の関係を通じて）

- (1) 知的財産権取得とその意義
- (2) 知的財産部門の体制とポジショニング
- (3) 事業部門と知的財産部門の関わり（商品開発フローと権利取得フローの関係）
- (4) 知的財産活動とコスト
- (5) 模倣品対策（良い例、悪い例、失敗経験を生かした対策）

2. 事業貢献度の高い知的財産活動のために

講師：**新藤 剛**氏 株式会社タカラトミー 管理本部 法務部 知的財産課 課長

17:00

終了

※プログラムの内容は予告なく変更になる場合もございます。予めご了承ください。

講師紹介

新藤 剛（しんどう たけし）氏 株式会社タカラトミー 管理本部 法務部 知的財産課 課長

2000年 立教大学法学部卒
同年 (株)タカラ（現(株)タカラトミー）入社。以後、一貫して知的財産、法務業務に携わる。
社団法人日本玩具協会産業向上・振興委員会知的財産部副部長
一般社団法人日本商品化権協会ニセモノ対策委員会委員
早稲田大学川口芸術学校非常勤講師
1児の父。仕事も育児も頑張る「イクメン」。

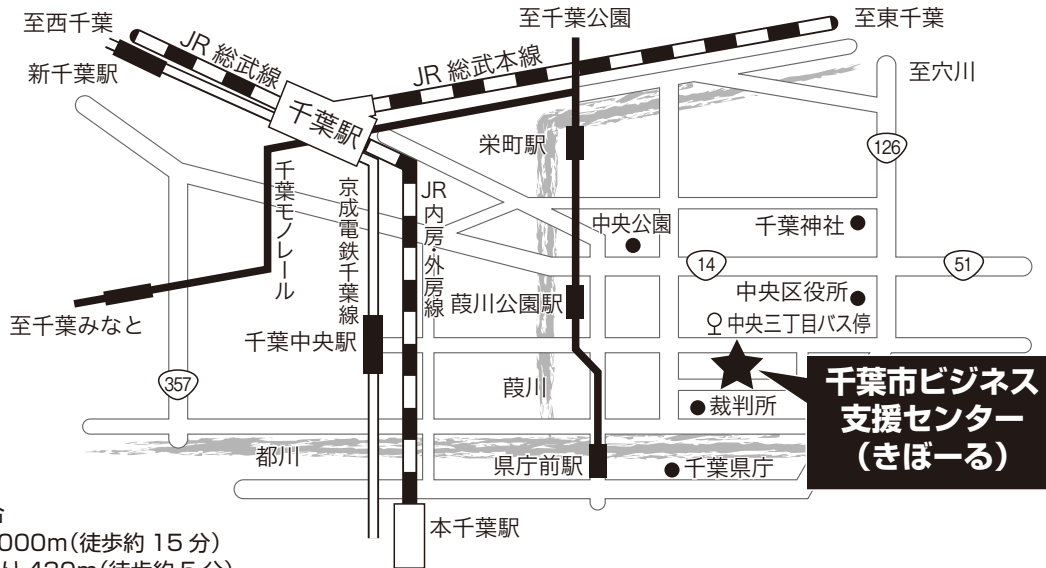
お申込・お問合せ先

下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

社団法人発明協会 千葉県支部

TEL : 043-290-7071 FAX : 043-207-1171

会場案内図



電車でお越しの場合

- ・JR 千葉駅より 1,000m(徒歩約 15分)
- ・京成千葉中央駅より 430m(徒歩約 5分)
- ・千葉都市モノレール 葭川公園駅より 350m(徒歩約 4分)

参加申込書

平成 23 年 月 日

社団法人発明協会 千葉県支部行

FAX : 043-207-1171

平成 22 年度中小・ベンチャー企業向け知的財産セミナー ～ おもちゃに見る「売れる商品」と「知財活動」～

開催日時 : 3月2日(水) 14:00 ~ 17:00 会場 : 千葉市ビジネス支援センター 13階会議室

貴社名			
電話番号	FAX 番号	E-mail	
部署・役職名	フリガナ		
	氏名		
	フリガナ		
	氏名		
	フリガナ		
	氏名		

- 〔お願い事項〕 ◆原則として先着順とします。お申込受諾の連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。
ただし、申込者多数の場合には、千葉県内の方々を優先させていただきますので、あらかじめ御了承ください。
参加をお断りする場合には事前にご連絡をいたします。
◆会場の駐車場は狭いので、公共交通機関をご利用ください。

※ご記入いただいた個人情報は、主催者において今回のセミナーにかかる事務処理、今後のセミナー等のご案内(DM、メールマガジン等)以外には利用いたしません。また、承諾なく第三者に提供することはありません。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。